

土木建築用補修材 JOLYSEAL

タイル、モルタル浮き部注入エポキシ樹脂

硬質形 I 高粘度形 H

JAIA F公公公公

ジョリシール JB-18 s (夏型) JB-18L W (冬型)

ジョリシールJB-18(L)は、常温硬化型エポキシ樹脂注入補修材で高粘度形です。外装タイル及びモルタルの浮き部に充塡接着します。

用途

●外装タイル・モルタルの浮き部に注入充塡 接着して落下防止。(JIS A 6024対応)

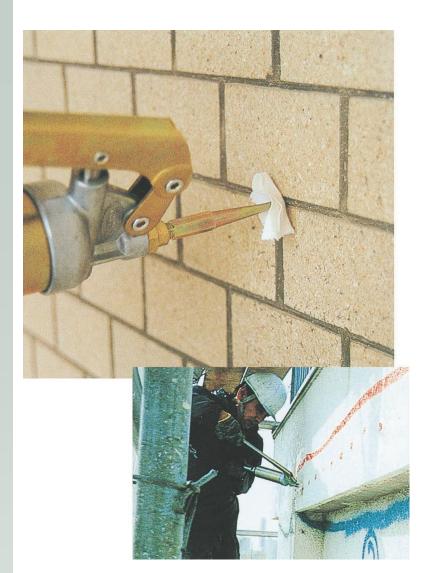
特長

- ●グリス状でタレにくい。
- ●せまい浮きでも容易に注入可能。 充塡接着性に優れる。



◆梱包容量

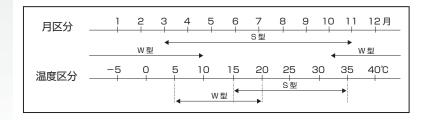
3kgセット×4セット入段ボール箱 (主剤2kg、硬化剤1kg)



◆性状

外観	主 剤 硬化剤 混合物	【JB-18】 白色グリース状 褐色グリース状 淡褐色グリース状	【JB-18L】 白色マヨネーズ状 褐色マヨネーズ状 淡褐色マヨネーズ状				
主成分	主剤硬化剤	エポキシ樹脂 ポリアミドアミン 変性脂肪族ポリアミン					
配合比	主剤:硬化剤	2:1	(重量比)				
可使時間	夏型 (S) 冬型(W)	約60分/23℃ 約40分/23℃					
硬 化 (目安)	夏型(S)/20℃ 冬型(W)/10℃	18時間 1	完全日 7日3日 10日				
比重	硬化物 (JIS K 7112)	1.1	± 0.1				

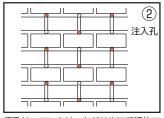
※上記数値は、規格値ではありません。



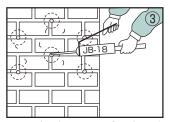
方法(例)



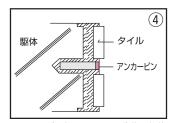
テストハンマーを用いて、浮陸、空隙部 の場所と範囲を確認します。



穿孔は、コンクリートドリルにて躯体コ ンクリート中に30mmの深さに達するよ うに穿孔し孔内は十分清掃します。



アンカーピン固定用JB-18(L)をグリスガンにて穿 孔の最深部より充塡する。前もって用意したアン カーピンを最終部まで挿入し、ポリマーセメント モルタル等で仕上げます。注入量25~30g/1穴



アンカーピン部JB-18(L)硬化後、躯体 コンクリート5mmの深さまで穿孔し、十 分清掃後残存浮き代部にJB-18(L)を確 実に注入する。注入量25~30g/1穴

ジョリシールJB-18、 JB-18Lの品質 (JIS A 6024硬質形エポキシ樹脂 高粘度形の品質対応品)

試験項目	試験方法	単位	JIS 規格値	測定値			
				JB-18S(夏型)	JB-18W(冬型)	JB-18LS(夏型)	JB-18LW(冬型)
スランプ性	JIS A 6024	mm	5以下/30℃ 5以下/15℃	0	0	0 —	0
接着強さ	JIS A 6024	N/mm²	6以上(標準条件) 3以上(低温時) 3以上(湿潤時) 3以上(乾燥繰返し時)	10.1 — 6.8 5.8	9.4 4.9 6.8 5.9	8.7 — 4.8 6.1	6.9 7.8 4.8 5.8
硬化収縮率	JIS A 6024	%	3以下	1.0	1.0	2.0	1.0
加熱変化	JIS A 6024	%	5以下(質量変化) 5以下(体積変化)	1.0 1.0	2.0 2.0	1.0 1.0	2.0 2.0
引張強さ	JIS A 6024	N/mm²	15以上	37.0	44.6	37.4	45.0
引張破壊伸び	JIS A 6024	%	10以下	5.0	5.0	4.0	5.0
圧縮強さ	JIS A 6024	N/mm²	50以上	61.2	69.6	67.6	71.5

※JIS A 6024対応品とは、JISに定められた認証を受けたことを示すものではなく、当社試験において当該JISに定められた規格を満たすことが確認されたことを示します。

安全上のご注意

1. 注意

1-1作業前の確認

取扱い作業に際しては、説明書、安全データシート(SDS)などで、注意事項を確認

-2取扱い場所

- (1) 火気のあるところでは、使用しないで下さい。 (2) 取扱い作業所には、局所排気装置を設けて下さい。

- (2) 収扱い作業所には、同別併取表面を起設りしてさい。
 1-3収扱い方法
 (1) 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク 又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用して下さい。
 (2) 容器からごぼれた場合には、布(ウエス)で拭きとって、安全な場所に廃棄して下さい。
 (3) 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。

1-4応急措置

- (1) 作業衣等に付着した場合には、その汚れをよく落として下さい。 (2) 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み、又は外観に変化がある時に は、医師の診断を受けて下さい。
- 日に入った場合には、冬量の水で洗い流し、早く医師の診断を受けて下さい。 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要 に応じて医師の診断を受けて下さい。 誤って飲み込んだ場合は、早く医師の診断を受けて下さい。

-5保管方法

- (1) 密栓の上、危険物倉庫に保管するか、指定数量以下の場合は、火気のない 5~35℃の直射 日光の当たらない場所に保管して下さい。 (2) 子供の手の届かない所に保管して下さい。

1-6接着用以外の使用禁止

- (1) 本来の用途以外には、使用しないで下さい。 **1-7廃棄方法**
- (1) 河川等の環境中に投棄、及び漏出させないで下さい
- 廃棄物の処理、及び清掃に関する法律、及び都道府県条例等に基づき、中身を使いきってから焼却するか、許可を受けた処理業者に委託して下さい。

2. 法規制

(1) 消防法

A (主剤) · B (硬化剤) とも下記の通りです。

火気厳禁			
指定可燃物			
可燃性固体類			

記載の内容やデータは、当社の試験研究および調査によるもので、十分信頼しえるものと考えておりますが、ご需要家各位にままた、使用目的、使用条件により相違する場合もありますのであらかじめご需要家各位で試験等のご確認をお願いいたします。 ご需要家各位において使用された結果を保証するものではありません。

● 本カタログに記載されている製品の使用、取扱い、保管については、必ず製品説明書および安全データシート(SDS)も合せてお読みください。

共通項目

仙

- 記載内容は当社試験結果によるもので十分信頼し得るものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を必ずしも保証したもので はありません。また、使用目的、使用条件により結果が相違する場合もありますので、予めご需要家各位でご確認されることを推奨します。
- 改良のため、予告なく仕様及び価格を変更することがありますのでご了承ください。確認は最寄りの当社までお願いいたします。
- 荷受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。また、ご使用前に製品に異常がないかも確認してください。 (後日に発見された場合は、責を負いかねます。)
- つき、商品写真と実物とは相違することがあります。 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄りの当社へお願いいたします。
- ©アイカ工業株式会社 本書に収録したものの一部または全部の無断複製・転載を禁じます。



ISO 9001 認証取得 JQA-2019 ISO 14001 認証取得 JQA-EM0513 OHSAS18001適合 JQA-0H0017

74 力互業株式会社

ホームページアドレス

http://www.aica.co.jp/



■代理店

業務用

化成品カンパニ-幎 **2** (011)811-9201

潟 🛣 〈025〉245-8596 四 国 **公** 〈087〉851-9588 FAX 〈087〉851-9592 福 岡 **公** 〈092〉474-1190 FAX 〈092〉474-1282 FAX (011) 812-2968 FAX (025)245-8597 ☎ ⟨0263⟩33-1321 **2** (022)232-3251 FAX (022)235-1067 松 本 FAX (0263) 33-1325 **☎** ⟨019⟩653-5591 FAX (019) 653-5419 名古屋 **2** (052)757-1053 FAX (052)757-1058 鹿児島 ☎ (099)226-7511 FAX (099)226-7515 FAX (0248) 62-1422 静岡 2 (054)286-0451 FAX (054) 286-0453 FAX (03) 5912-2847 北 ☎ (076)222-9600 FAX (076)222-9608

島 ☎ (0248)62-1420 福 沖 縄 ☎ (098)868-6367 FAX (098)868-6372 **☎** ⟨03⟩5912-2841 浜 🏗 〈045〉640-1081 FAX (045) 640-1087 阪 ☎ (06)6265-6813 FAX (06)6265-6814 FAX (048) 601-2190 **☎** ⟨048⟩ 601-2191 ☎ (078)222-6341 FAX (078)222-6326 東 京ショールーム ☎(03) 6770-2012 葉 ☎ (043)382-4311 FAX (043)382-4312 京 都 🏗 (075)284-0770 FAX (075)284-0771 名古屋ショールーム 🕿 〈052〉 757-1056 FAX (028) 346-1752 ☎ ⟨028⟩346-1750 ☎ ⟨082⟩254-1311 FAX (082)255-8817 大 阪ショールーム ☎(06) 6265-6828 北関東 ☎ (027)322-8771 FAX (027)327-2271 福 岡ショールーム ☎(092) 474-1164

カタログ、サンプル帳、現物サンプルの ご請求はホームページまたはFAXにて

● 商品のお問い合わせ先

ダイヤルは、携帯電話・PHS・一部のIP電話等からはご利用に アイカ問合せセンター なれない場合がございます。

ホームページ:www.aica.co.jp FAX (052)409-1526 TEL (052) 409-1471

0120>525-100 TEL (052>409-8313 FAX (052>409-1482